

新型コロナウイルスワクチン接種に関するお知らせ

希望者への接種が進んだことから、市が実施する集団接種の受付は10月で終了しました。各医療機関での個別接種は、11月中も継続しますが、予約状況等により接種体制が縮小されています。ワクチン接種に関する最新情報は市ホームページ（右図読み取り）等でご確認ください。



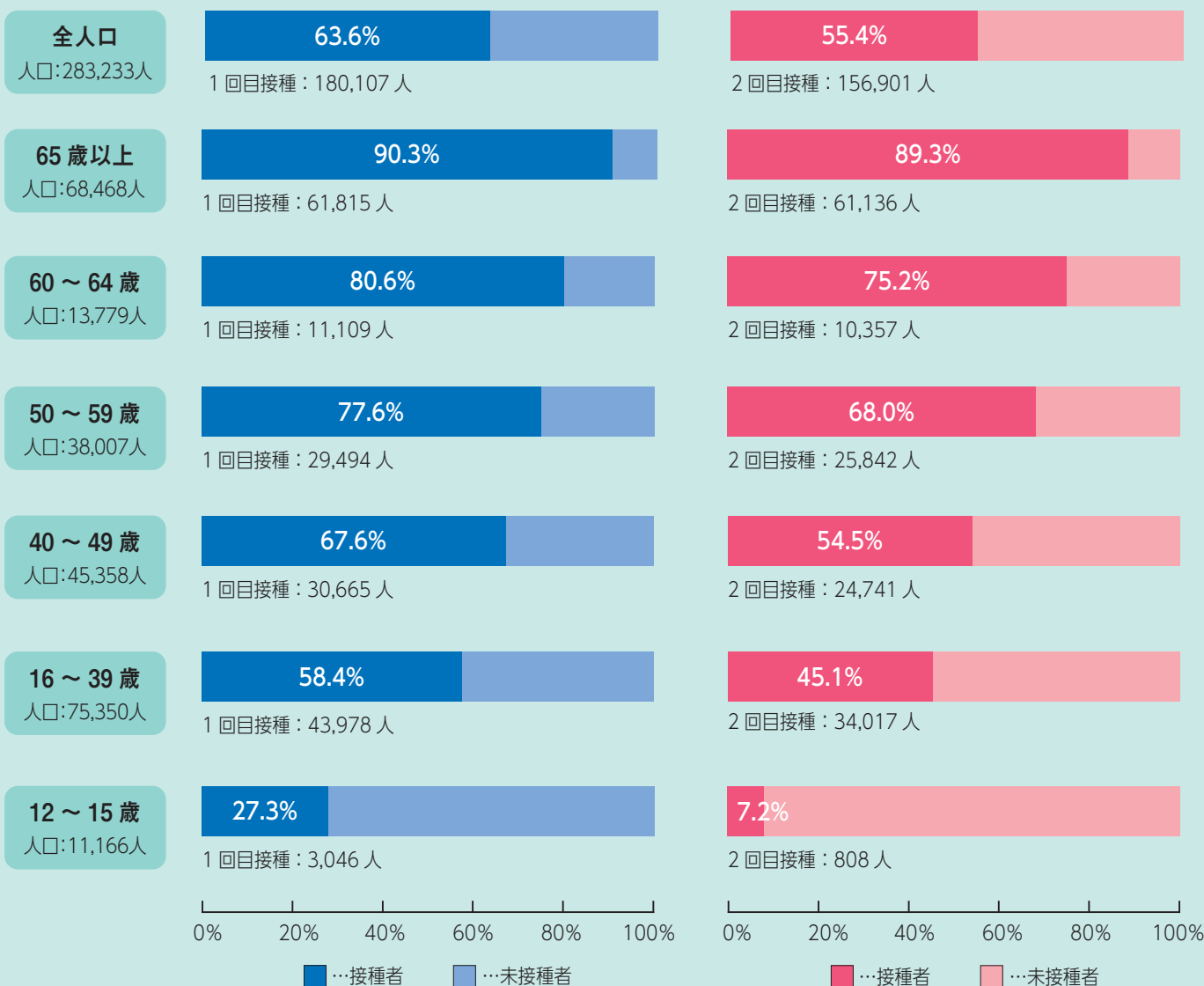
市コールセンター

電話 0120・695・890 午前9時～午後5時（土・日曜日、祝日も実施）
FAX 072・655・2760（聴覚や発語に障害のある方のみ）

茨木市ワクチン接種状況（10月12日現在）

1回目接種状況

2回目接種状況



※人口は令和3年1月1日現在

効果と接種後の感染

日本で接種が行われているファイザー社、モデルナ社、アストラゼネカ社（原則 40 歳以上対象）いずれのワクチンも、新型コロナウイルス感染症への発症予防効果は高く、重症化の予防効果も期待されています。また、ウイルスの小さな変異で効果がなくなるというわけではありません。なお、接種して免疫がつくまでには 1～2 週間程度かかり、免疫がついても発症予防効果は 100% ではないことから、接種後も引き続き感染防止対策（マスクの着用、手洗い、こまめな換気等）の継続が必要です。

接種後の副反応

いずれのワクチンも、接種部位の痛み、疲労、頭痛、筋肉痛、悪寒、関節痛等、症状は類似しています。症状は翌日に出ることが多く、モデルナ社のワクチンでは接種後 1 週間程度経ってから接種部位の痛みや腫れ等が出ることがありますが、大部分は数日以内に回復しています。副反応は年齢が若いほど、また女性に多く発生する傾向があり、1 回目比べて 2 回目の接種後に、発熱、倦怠感等の全身反応が多く発生していますが、アストラゼネカ社のワクチンは、1 回目の方が発生頻度が高くなっています。まれにアナフィラキシー（重いアレルギー反応）が見られますが、すぐに対応できるよう接種会場や医療機関では医薬品等の準備を整えています。【相談窓口】 府コールセンター ☎ 0570・012・336 または ☎ 06・6635・2047、☎ 06・6641・0072（聴覚障害のある方のみ）、受付時間：24 時間 365 日

アナフィラキシーとして評価された件数と死亡例について

厚生労働省が公表している 9 月 12 日現在での、アナフィラキシーとして評価された件数と死亡例は下表のとおりです。死亡例とアナフィラキシーの報告に関して、現時点でワクチンの接種体制に影響を与える重大な懸念は認められないとされています。

	専門家がアナフィラキシーとして評価した件数 () の数字は報告数	死亡との因果関係があると結論づけられた件数 () の数字は報告数
ファイザー社 (122,789,441 回接種)	475 件 (2,536 件)	0 件 (1,157 件)
モデルナ社 (23,447,233 回接種)	34 件 (389 件)	0 件 (33 件)

健康被害救済制度

予防接種は感染症を防ぐために重要なものですが、まれに健康被害の発生が見られます。万が一、予防接種による健康被害が発生した場合（障害が残ってしまった場合等）には、救済給付を受けられる制度があります（詳細は厚生労働省ホームページ参照）。

追加接種（3 回目接種）について

※ 9 月 22 日時点情報

国は、新型コロナワクチンの 3 回目接種の実施について、国内外の感染動向やワクチン効果の持続期間、科学的知見、諸外国の対応状況から判断して追加接種を行う必要があるとの方針（下記参照。ただし、国の審議会等の判断により、内容は変更となる場合があります）を示しています。この方針に基づき本市でも 3 回目接種の実施に向けて、順次計画を進めます。今後の接種体制やスケジュール等は詳細が決まり次第、広報いばらきや市ホームページ等でお知らせします。

対象者・回数	2 回目接種を終了した人で、おおむね 8 か月以上経過している人を対象に 1 回の追加接種を行う
開始時期	未定（2 回目接種終了から 8 か月以上後）
使用ワクチン	原則 1・2 回目に用いたワクチンと同一のワクチン